

2022年6月号



端午の節句であい寿の丘・ひだまりで、五月人形と手作りの鯉のぼりを飾りました。おやつに柏餅を食べ、お風呂は菖蒲湯にしました。ご利用者からは「五月人形は男の子が力強くたくましく成長できるようにと願って飾っているんだよ」「柏餅の柏は新芽

が育つまでは古い葉が落ちないことから子孫繁栄の縁起のいい食べものなんだよ」「菖蒲には精油成分が含まれているから暑い夏でも健康に過ごせるんだよ」など、昔からの行事にまつわる話を聞くことが出来ました。



みなみ苑「柏餅作り」

5月は端午の節句ですね。そして食べ物と言えば「柏餅」。

職員がお餅を作り、ご利用者は自分の分の餅を丸く引き伸ばします。そこに丸めた餡子をはさんで外から柏の葉で包んで完成です。

「もちもちして、なかなか伸びんね」「こんな感じ?」と言いながら一生懸命作っていました。「やっぱり作り立ては格別美味しい」と喜んでいました。



みなみ苑「ペットボトルでボーリング」

「楽しく体を動かしましょう。」ということでペットボトルを使ってボーリングをしました。投げるボールは、新聞紙をたくさん丸めてビニール袋で包み、テープでぐるぐると巻いてボールにしました。



座って投げる人、立って投げる人、色々ですがご利用者の気合は十分です。「やったあ」「よし!!」「ああ、残念」等、歓声があがっていました。職員が投げ、当たらなかったときは「へたくそ」と掛け声がかかり、職員が笑ってごまかす場面もありました。皆さんが、大変盛り上がり喜んで頂けて良かったです。

みなみ苑「リサイクル」

あい寿の丘のご利用者が毎日牛乳を飲まれて、空の牛乳パックがたくさん出てきます。そこでみなみ苑のご利用者にお手伝いをしてもらおうと「牛乳パックを資源回収に出すので開いて欲しいです。」と尋ねたところ「いいよ」と快く引き受けてくれました。

手伝ってケガをしてはいけないうので「ゆっくりやってね。気をつけて開いてくださいね。」と職員が声を掛けますが、サッと切って開いてくださり、たくさんありましたが直ぐに終わってしまいました。



南知多町デイサービス「壁面」

鯉のぼりの風景の壁面が完成しました。紫色の
おりがみで折った菖蒲が一面に咲いている上を、
たくさんの鯉のぼりが気持ちよく泳いでいます。

ご利用者に、鯉の形に模った色画用紙に鱗の模
様を小さくちぎった色とりどりのおりがみで表現
していただきました。「どうやって貼ればきれいか
な?」「ちょっと貼りすぎかな?」とご利用者同士
で話をしながら見栄えを考えて貼っていました。
完成した鯉のぼりは、デイホールの窓から入った
5月のさわやかな風にゆられているようです。



南知多町デイサービス・そよかぜデイサービス「手作り作品」



端午の節句の手作り作品を各デ
イサービスのご利用者が頑張っ
て作りました。

南知多町デイサービスでは、鯉の
ぼりの壁掛けを作りました。ご利
用者が壁掛けの土台に、鯉のぼり
のパーツを職員の合図に合わせて
貼っていただきました。

出来上がった作品を帰りの身支
度の時に渡され、大事そうにお持
ち帰りになりました。「玄関に飾っ

たよ。」「お休みしていた
のに作ってもらってうれ
しいわ。」とお手紙をくだ
さったご利用者もおられ、
職員も心温まる出来事で
した。

そよかぜデイサービス
では、鯉の形に切った牛
乳パックにカラフルなマ
スキングテープを貼り付
けて、一個一個個性が出
ていました。



あい寿の丘「手作りのフルーツポンチ・フルーツゼリー」

今月の手作りおやつは、果物をつかったフルーツポンチやフルーツゼリーを作りました。召し上がったご利用者は、「また作ってね」「美味しいね」「今日のゼリーは何味なのかしら」「次は何を作ってくれるのかな」など利用者さんの喜びの声も多く聞くことが出来ました。



ひだまり「野菜収穫」



ひだまりで、春先に植えたスナップエンドウが実ったので収穫しました。収穫したエンドウをご利用者に筋を取っていただくよう声をかけたところ「任せて！」と頼もしい返事が返ってきました。

ご利用者の皆さん手慣れた手つきで、あっという間に筋をとることが出来ました。さっと塩茹でして昼食の一品としていただきました。「美味しいよ」と笑顔で召し上がられていました。

そよかぜ「農園」

そよかぜ農園が本格的に始動しました。ご利用者と一緒に植える野菜を選び、苗の買い出しへ出かけ、苗植えを行いました。

農園を曜日ごとに区画し、ご自身の利用日に水やりを行っていただきます。外へ出る機会を日課とすることで、筋力低下の予防と意欲の向上へとつなげていきたいと思っております。

